

平成16年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会						
①	指標名	サービス評価事業活動の拡大			目標値	9件	実績値	13件
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	144.4%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:件)			8				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市内及び市外の高齢者施設と保育施設へ評価受審案内書を150件送付した。 ②問い合わせのあった施設へは直接職員が赴き、事業内容や費用などを説明した。 ③評価機関としての質の向上を図るため、評価者に対するフォローアップ研修の受講の徹底と勉強会や施設見学会を実施した。 ④評価結果を詳しく伝えるため、市民社協独自のスタイルにより公表した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○事業者へ積極的にPR活動を行ったことにより、目標値を大幅に上回って達成することができた。 ○今後は、実績の向上とともに、事業者としての質の向上にも努力していく。							
二次評価	●サービス評価とは、利用者でも事業者でもない第三者（市民社協）が専門的かつ客観的な立場から、サービスの内容や質、事業者の経営や組織のマネジメントの力などを評価し、結果を利用者に情報提供したり、事業者にフィードバックしサービスの質の向上につながる取り組みである。 ●平成16年度は、積極的なPR活動により目標値を4件上回った。 ●17年度より評価手法が大きく変更されたので、実績の向上とともに所属評価者の質を維持するため、研修を十分に先行対応する必要がある。							
②	指標名	会費及び収益事業			目標値	11,000千円	実績値	11,198千円
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	101.8%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:千円)	11,953	11,504	10,744				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①新規加入会員分の会費相当額を地域社協へ助成金として還元した。 ②地域社協、民協、老人クラブなど市民が多く集まる会議などで入会をお願いをした。 ③環境配慮型の自動販売機の設置を総合体育館に依頼したが実現しなかった。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○会員数は5.5%減少したが、納入率が向上したため前年より会費の納入額が増加した。 ○自動販売機の収益が前年より約90万円（25%）の増収になったため、目標値を達成することができた。							
二次評価	●独自財源確保のため、飲料等の自動販売機を市役所、中央図書館、総合体育館に合計18台設置し、手数料収入を得ている。平成16年度の収益金は、4,806,275円で社会福祉事業に充てた。 ●会員数については、会員の高齢化や新規会員が少ないことから減少傾向にある。 ●会員あつての市民社協であることを考えると、会員の増強は最重要課題である。毎年7月に実施している「七夕のつどい」を中心とした会員増強月間を設けるとともに、市民社協の事業自体の見直しと若者を会員として取り込んでいく工夫が必要である。							
③	指標名	派遣職員の削減と人事考課の導入			目標値	1名減	実績値	1名減
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:名)	派遣2名	派遣3名	派遣3名				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①派遣職員は1名削減し2名になった。 ②アルバイトを含む職員全体数では、2名減少し16名になった。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○市から派遣されていたサービス評価業務担当職員の派遣期間が満了となったため、市からの派遣職員は1名減となり2名になった。 ○成果主義の導入については今後検討していく。							
二次評価	●市からの派遣職員の1名引き上げにより、目標を達成できたが、既定の通り行われただけであるから、団体の努力が反映できる指標の設定が望ましい。 ●職員の資質についていうと、従来の高齢・障害・児童に加え環境や防災等、福祉に求められる分野が広範囲になってきており、より幅広い知識と専門性が求められるようになってきている。 ●少数精鋭の職員を育成していくために体系的な職員研修の実施が必要である。							